

こんばんは。教室長の大内です。
今日は休講期間中の課題提出日でした。
ほんのわずかな時間でしたが、
久しぶりにたくさんの生徒さんに
会うことができました。
生徒様・保護者様への健康面を考え、
窓ガラス越しに対応させて頂きましたが、
ほんの一瞬でも元気そうな姿を見られるのは
良いものですね。
一日も早く、このメンバーで
授業が再開できることを願っています。

ご家庭でのようすも色々と教えて頂きました。
課題があることで机には向かえているけれども
やはり先生の前で勉強することと、
誰もそういった目がない中で勉強することでは
緊張感や取り組みの精度が
かなり異なってしまいますよね。
特に新高1や新中1の生徒さんは
学校すら始まっていないのですから、
モチベーションが上がらない…。
そういった話も聞きました。
正直、無理もない部分だと思います。
しかし、こういう環境の中で
試行錯誤して取り組み続ければ
もとの環境に戻ったとき、
対面の授業に戻ったとき、
それがいかに素晴らしいことなのか
痛感できるのではないかと思います。
私は課題の準備をしていて、すでにそのことを
痛感する毎日です。
「教えたい！」という気持ちでいっぱいです。

遊びほうけてしまっていると、
いざ授業が再開したときに
「ああ、だるいな～」という心境に
なってしまうのではないのでしょうか？
日曜日の夜に近い心境ですかね（笑）

そうではなく、
「ああ、やっとなんかで勉強できる！」と
思えるように、このような状況だからこそ
勉強する習慣を忘れずに
生活してほしいと思います。

ところで、今日は課題提出だけでなく
来週分の課題もその場で渡しました。
今週の課題は
個人差がかなりあったようです。
やっとの思い出取り組み、
どうにか今日提出してホッと一息…
という生徒さんに
こう言うのです。

「それが来週の課題だから持って行ってね。」

妙な罪悪感（？）がありました（笑）。

終わらせることが目的になってしまい、
取り組みが雑になってはいけません。
例え途中まででも良いですから
真剣に集中して取り組んでほしいです。
応援しています！